

1 (仮称) 日吉多目的グラウンド整備の背景

(1) スポーツを取り巻く環境

スポーツは、心身の健全な発達や明るく豊かで活力に満ちた社会の形成に不可欠なものであり、人々が生涯にわたってスポーツに親しむことは、極めて大きな意義を有している。

平成23年8月には、「スポーツ基本法」が施行され、「スポーツは世界共通の人類の文化」として、スポーツ施策に関する国や地方公共団体の責務を明らかにし、「スポーツ立国の実現をめざし、国家戦略として、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進する」としている。

こうしたなかで、地方においては、スポーツ施設の整備や各種スポーツイベントの開催、スポーツ合宿の誘致等を図るなど、住民へのスポーツ機会の提供や魅力ある地域づくりの一環として、創意と工夫を凝らしたスポーツ振興施策に取り組んでいる。

(2) 本市の公共スポーツ施設の現況

本市では、平成4年に「スポーツ健康都市」を宣言し、スポーツと健康づくりを通じて、からだと心を鍛え、活力あふれるまちづくりをめざしており、平成17年には「スポーツ振興計画」を策定し、だれもが生涯を通じ、夢と感動に満ちたスポーツの振興を図ることとしている。

このようななかで、屋外のスポーツ施設としては、千代台運動公園内の野球場や陸上競技場をはじめ、日吉サッカー場や根崎ラグビー場のほか、昭和公園や緑の島の多目的広場なども広く市民に利用されている。

【主な公共屋外スポーツ施設等の概要】

施設名	開設時期	施設概要	平成23年度利用者数 (観客を除く)
千代台公園陸上競技場	昭和36年 (平成11年全面改修)	第2種公認 全天候トラック9レーン スタンド収容人員15,000人	64,211人
千代台公園野球場	昭和26年 (平成6年改修)	両翼99.1m 中壘122m スタンド収容人員20,000人	19,986人
函館八幡宮外苑野球場	昭和29年	水飲み場, トイレ	6,922人
新川公園野球場	昭和23年	スタンド収容人員100人	11,609人
根崎公園野球場	昭和49年	ダッグアウト2か所, スタンド収容人員450人	12,137人
西桔梗野球場	平成19年	両翼90m 中壘115m ダッグアウト2か所 夜間照明設備 スタンド収容人員270人	14,362人
根崎公園少年運動広場	昭和57年	クレーグラウンド1面(82m×60m)	6,310人
南茅部運動広場	平成元年	野球場, グラウンド, 管理棟, 駐車場	11,162人
日吉サッカー場	平成9年	芝, クレーコート各1面 クラブハウス	13,514人
根崎公園ラグビー場	昭和44年	芝1面 スタンド収容人員3,000人	3,265人
青柳市民庭球場	昭和15年	クレーコート2面 更衣室 トイレ	5,967人
千代台公園庭球場	昭和43年 (平成3~5年改修)	砂入人工芝10面 夜間照明設備 クラブハウス	57,096人
日吉市民庭球場	昭和60年	クレーコート5面	3,788人
昭和公園多目的広場	平成13年	多目的グラウンド1面 夜間照明	13,830人
緑の島多目的広場	平成6年~部分供開始	天然芝多目的グラウンド1.5ha 1.0ha	(島全体) 117,160人

(3) 競技団体別の団体・会員数

函館市体育協会には、平成23年度現在39の競技団体が加盟しており、各競技団体に加盟している団体数が最も多いのは函館軟式野球連盟の160団体で、次いで函館サッカー協会が157団体、函館地区バスケットボール協会が151団体、函館地区バドミントン協会が131団体などとなっている。また、会員数が最も多いのは、函館サッカー協会の4,064人で、次いで函館軟式野球連盟が3,500人、道南陸上競技協会が2,606人、函館地区バスケットボール協会が2,370人などとなっている。

【函館市体育協会加盟スポーツ団体】(平成23年度)

No.	団 体 名	団 体 数	会 員 数
1	函館サッカー協会	157	4,064
2	函館卓球協会	107	1,470
3	函館市ラグビーフットボール協会	19	607
4	函館テニス協会	17	472
5	函館ソフトテニス連盟	53	1,114
6	函館ハンドボール協会	39	928
7	道南ソフトボール協会	6	52
8	函館地区バスケットボール協会	151	2,370
9	函館バレーボール協会	78	1,100
10	函館バウンドテニス協会	1	42
11	函館市ゲートボール協会	11	80
12	北海道ボウリング連盟函館支部	4	90
13	函館グラウンド・ゴルフ協会	1	47
14	函館市パークゴルフ協会	1	326
15	函館市スポーツ少年団	78	1,863
16	函館軟式野球連盟	160	3,500
17	道南陸上競技協会	1	2,606
18	函館ヨット協会	2	40
19	函館市弓道連盟	1	129
20	函館アーチェリー協会	3	89
21	函館剣道連盟	27	460
22	函館地区山岳連盟	8	85
23	函館柔道連盟	58	756
24	函館地区自転車競技連盟	5	50
25	函館スキー連盟	33	1,200
26	函館水泳協会	13	136

No.	団 体 名	団 体 数	会 員 数
27	函館市スケート協会	2	30
28	函館ボート協会	2	20
29	函館アマチュアボクシング協会	1	80
30	函館地区バドミントン協会	131	1,837
31	函館地区相撲連盟	1	50
32	北海道銃剣道連盟函館支部	1	220
33	函館地区体操連盟	16	200
34	函館地区空手道連盟	33	390
35	函館真向会	2	30
36	函館アイスホッケー協会	8	180
37	南北海道外洋帆走協会	45	180
38	函館クレイ射撃協会	1	45
39	函館圏ダンススポーツ連盟	23	300
計	39競技団体	1,300	27,238

※函館市体育協会には、上記競技団体のほか、函館市中学校体育連盟および北海道高等学校体育連盟函館支部が加盟している。

(4) 既存施設の現状と課題

函館市体育協会に加盟している競技団体のうち、会員数が最も多いサッカーは、ラグビーとグラウンドを共用できることから、それぞれの専用グラウンドである日吉サッカー場と根崎公園ラグビー場について、現状と課題を整理する。

ア 日吉サッカー場

(ア) 施設の現状

日吉運動広場内に芝生とクレーのコート各1面のほか、付帯施設として管理棟および駐車場を備えており、平成9年に供用を開始した。

施設の管理は、開設当初から函館サッカー協会に委託しており、平成18年度からは公募による選考により函館サッカー協会が指定管理者となって施設の管理を行っている。

敷地の一部が函館新外環状道路の整備の関連で、放射4号線および道道臨空工業団地線の予定地となっており、今後、機能補償工事を予定している。

利用者は、ここ数年は1万人台で推移している。

【施設概要】

所在地	函館市日吉町4丁目7番
開設期間	4月1日～11月30日
開設時間	4月1日～8月31日：午前7時～午後7時 9月1日～9月30日：午前7時～午後6時 10月1日～11月30日：午前7時～午後5時
施設規模	芝コート：115m×78m 1面 クレーコート：115m×78m 1面
付帯施設	管理棟：鉄骨造2階建335.36㎡ 事務室、トイレ(男女、身障者用)、シャワー室、更衣室、器具庫、会議室(80人収容) 駐車場：64台(管理事務所側34台、テニスコート側30台)
使用料 (1時間あたり)	芝コート：一般2,000円、児童・生徒1,000円 クレーコート：一般1,000円、児童・生徒500円 会議室：200円 放送設備：360円 シャワー：一人一回100円

【利用状況】

(単位：人)

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
芝コート	5,038	5,010	4,396	3,281	3,462	2,780
クレーコート	11,731	10,802	10,846	8,710	8,810	9,986
会議室	761	1,300	1,048	490	825	748
計	17,530	17,112	16,290	12,481	13,097	13,514

(イ) 課題

サッカーの公式大会の利用にあつては天然芝コートが望ましいが、天然芝コートは、一定の養生期間が必要であることから、月平均10日間程度の利用が限度となっているほか、クレーコートは天然芝に比べ利用可能期間は長いものの、排水機能の低下により、降雨後は利用できないことが多く、利用が制限されている状況にある。

また、大規模な大会や短期間で開催される大会においては、市内外の他施設を含め分散して開催しなければ、試合日程を消化できない状況にあり、この状況を解消し、より大規模な大会の開催やスポーツ合宿にも対応するため、悪天候時にも使用可能な新たな施設整備が課題となっている。

さらに、近年競技人口が増えているフットサルについては、専用のコートがない状況にある。

イ 根崎公園ラグビー場

(ア) 施設の現状

根崎公園内に天然芝のコート1面と3,000人収容のスタンドのほか、付帯施設として更衣室と物品庫を備えており、昭和44年に供用を開始した。

開設から40年を超え、スタンドやフェンスなどの老朽化が進んでいるほか、天然芝の張替も必要な時期になってきている。

管理業務については、函館市ラグビーフットボール協会に委託し、芝の管理等を行っており、大会等のほか、当該協会が主催する函館ラグビースクールにも使用されている。

利用者は、年間3,000人前後で推移している。

【施設概要】

所在地	函館市湯川町3丁目6番 根崎公園内
開設期間	4月第2日曜日～11月第2日曜日
施設規模	プレー面 13,500㎡ 天然芝 スタンド 3,000人収容
付帯施設	更衣室, 会議室, 物品庫 ※便所, 駐車場(74台)は公園施設を使用
使用料	一般: 一日4,500円, 半日2,700円 学生・生徒: 一日1,800円, 半日1,050円 ※一日は、日の出～日没 半日は、日の出～正午または正午～日没

【利用状況】

(単位:人)

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
ラグビー場	3,360	2,690	3,460	2,820	3,280	3,265

(イ) 課題

ラグビースクールやラグビーの支部大会などに利用されているが、コートが1面しかないため、大規模な大会や短期間で開催される大会には対応できない状況にある。

また、春先には道内他都市の高等学校のクラブの合宿にも利用されているが、新たな施設整備が進んでいる本州他都市の施設への移行が進み、函館での合宿参加校が減少傾向にあり、複数のコートを持つ新たな施設整備が課題となっている。

(5) 各種計画上の位置づけ

ア 新函館市総合計画（平成19～28年度）

「市民が身近で気軽にスポーツ・レクリエーション活動を行うことができるよう、施設機能の充実に努めるとともに、民間施設との連携を促進し、市民が利用しやすいスポーツ・レクリエーション環境の充実に努める」、「スポーツへの関心や参加意欲を高めるため、全道・全国レベルの大会や国際大会、プロスポーツイベント、スポーツ合宿の誘致を進める」としている。

イ 合併建設計画（平成16～26年度）

「住民一人ひとりが自らの健康の保持増進や体力づくりに取り組むため、スポーツ・レクリエーション事業の改善・充実に努めるほか、施設等の整備を進める」としている。

ウ スポーツ振興計画（平成16年度から概ね10年間）

「市民に夢と感動を与える強い競技スポーツの振興を目指し、競技力向上のための環境づくりを図るとともに、優れた競技スポーツ指導者の養成や競技人口の拡大、さらには、全国・全道大会やスポーツ合宿の誘致等に努める」、「市民だれもが生涯にわたって、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、気軽にスポーツ活動に親しむことのできる生涯スポーツ社会を実現するとともに、強い競技スポーツの基盤となる施設の整備と活用を図る」としている。